



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ヴィス 上場取引所 東
コード番号 5071 URL <https://vis-produce.com/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）金谷 智浩
問合せ先責任者（役職名）常務取締役コーポレートDiv. 長（氏名）矢原 裕一郎（TEL）06-6457-6788
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	6,874	△13.8	644	△34.0	644	△33.6	414	△35.3
2025年3月期中間期	7,972	24.6	976	85.3	970	87.1	640	94.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 413百万円（△35.5％） 2025年3月期中間期 641百万円（95.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	49.53	49.14
2025年3月期中間期	77.30	76.28

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	10,452	6,941	66.4
2025年3月期	10,796	6,936	64.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,941百万円 2025年3月期 6,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	49.00	49.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	49.00	49.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	17,200	5.8	1,922	0.3	1,911	0.0	1,262	△7.0

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	8,369,050株	2025年3月期	8,351,800株
2026年3月期中間期	123株	2025年3月期	123株
2026年3月期中間期	8,358,095株	2025年3月期中間期	8,283,658株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、米国の関税政策の動向や、ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、2025年6月に策定した中期経営計画(VISION2027)の1年目にあたり、オフィスデザインからワークデザイン(働く環境や働き方のデザイン)へと事業領域拡大を目指し、各重点施策を実行しております。

当社グループにおきましては、成長企業や働き方の見直しに積極的な企業を中心に営業活動を行い、ワークデザインに関連するサービスをワンストップで提供することにより、企業価値の向上や働く人々のエンゲージメントの向上に貢献してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高6,874百万円(前年同期比13.8%減)、営業利益644百万円(同34.0%減)、経常利益644百万円(同33.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益414百万円(同35.3%減)となりました。

各セグメントの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① ブランディング事業

ブランディング事業では、オフィスデザイン・ウェブデザイン・グラフィックデザインをワンストップで提供しており、多様なマーケティング手法により新規顧客の獲得及び既存顧客へのフォローを継続して行ったことで、高成長企業を中心に受注獲得を行ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は6,668百万円(前年同期比13.3%減)、セグメント利益(営業利益)は725百万円(同26.7%減)となりました。

② データソリューション・プレイスソリューション事業

データソリューション・プレイスソリューション事業では、株式会社ワークデザインテクノロジーズ(現連結子会社)が開発したワークプレイス構築DXツール「ワークデザインプラットフォーム」や組織改善サーベイ「ココエル」を提供しております。

また、東名阪エリアにおいて、フレキシブルオフィス「The Place」の運営を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は206百万円(前年同期比26.4%減)、セグメント損失(営業損失)は14百万円(前年同期は38百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して344百万円減少し、10,452百万円となりました。

流動資産は671百万円減少し、6,816百万円となりました。これは主に仕掛品で13百万円、未収入金で22百万円増加した一方で、現金及び預金で372百万円、売掛金で339百万円減少したことによるものであります。

固定資産は327百万円増加し、3,636百万円となりました。これは主に建物及び構築物で211百万円、工具、器具及び備品で64百万円、投資有価証券で67百万円増加した一方で、繰延税金資産で10百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して349百万円減少し、3,511百万円となりました。

流動負債は457百万円減少し、3,217百万円となりました。これは主に未払金で74百万円、前受金で883百万円、預り金で18百万円増加した一方で、買掛金で758百万円、未払費用で359百万円、未払法人税等で137百万円、未払消費税等で158百万円、賞与引当金で15百万円減少したことによるものであります。

固定負債は108百万円増加し、293百万円となりました。これは資産除去債務で119百万円増加した一方で、その他に計上している長期預り保証金で17百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5百万円増加し、6,941百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益414百万円を計上した一方で、配当金409百万円を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました内容から変更はございません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

本日公表の「配当方針の変更（累進配当の導入と配当性向の引き上げ）に関するお知らせ」に記載のとおり、配当方針を変更しております。変更後の配当方針は以下のとおりであります。

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。利益配分につきましては、収益力を強化し、継続的かつ安定的に配当を行うため、累進配当を基本とし、連結配当性向30%を基準としております。

2026年3月期（当期）の配当金につきましては、2025年5月14日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信」に記載のとおり、1株当たり49円を予定しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,121,871	5,748,962
売掛金	1,163,294	823,797
仕掛品	126,576	140,293
前払費用	66,661	71,047
未収入金	2,343	24,344
その他	6,499	7,614
流動資産合計	7,487,246	6,816,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	990,003	1,201,514
工具、器具及び備品(純額)	72,594	137,421
土地	1,155,537	1,155,537
リース資産(純額)	-	5,973
有形固定資産合計	2,218,136	2,500,446
無形固定資産		
ソフトウェア	41,118	39,628
その他	76	76
無形固定資産合計	41,194	39,705
投資その他の資産		
投資有価証券	329,796	397,508
敷金及び保証金	377,531	369,233
繰延税金資産	284,927	274,839
その他	58,128	55,159
投資その他の資産合計	1,050,384	1,096,739
固定資産合計	3,309,715	3,636,891
資産合計	10,796,961	10,452,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,889,219	1,130,898
未払金	62,290	137,241
未払費用	695,545	336,063
未払法人税等	384,599	246,657
未払消費税等	173,529	15,279
前受金	385,454	1,268,716
リース債務	-	1,347
預り金	17,026	35,131
賞与引当金	61,275	46,181
役員賞与引当金	6,144	-
流動負債合計	3,675,084	3,217,517
固定負債		
リース債務	-	5,523
資産除去債務	146,415	266,404
その他	38,845	21,718
固定負債合計	185,260	293,646
負債合計	3,860,344	3,511,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	544,652	552,753
資本剰余金	519,511	527,612
利益剰余金	5,856,049	5,860,821
自己株式	△126	△126
株主資本合計	6,920,087	6,941,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,170	726
その他の包括利益累計額合計	1,170	726
株式引受権	15,360	-
純資産合計	6,936,617	6,941,787
負債純資産合計	10,796,961	10,452,950

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,972,047	6,874,829
売上原価	5,645,827	4,896,806
売上総利益	2,326,219	1,978,022
販売費及び一般管理費	1,349,746	1,333,430
営業利益	976,473	644,592
営業外収益		
受取利息	493	8,481
受取手数料	40	-
受取賃貸料	1,335	1,335
受取保険金	1,603	-
その他	592	404
営業外収益合計	4,065	10,221
営業外費用		
支払利息	-	32
固定資産除却損	-	914
投資事業組合運用損	8,101	6,342
リース解約損	239	-
賃貸費用	117	3,024
その他	1,085	140
営業外費用合計	9,544	10,454
経常利益	970,994	644,359
特別利益		
固定資産売却益	-	12,357
特別利益合計	-	12,357
税金等調整前中間純利益	970,994	656,717
法人税等	330,696	242,712
中間純利益	640,297	414,004
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	640,297	414,004

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	640,297	414,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,137	△443
その他の包括利益合計	1,137	△443
中間包括利益	641,435	413,560
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	641,435	413,560
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	970,994	656,717
減価償却費	58,645	70,680
賞与引当金の増減額(△は減少)	131,019	△15,094
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,715	△6,144
受取利息及び受取配当金	△489	△8,481
支払利息	-	32
固定資産除却損	-	914
投資事業組合運用損益(△は益)	8,101	6,342
固定資産売却損益(△は益)	-	△12,357
売上債権の増減額(△は増加)	715,632	339,497
棚卸資産の増減額(△は増加)	△46,134	△14,126
前払費用の増減額(△は増加)	△12,966	△4,385
仕入債務の増減額(△は減少)	△683,344	△758,320
未払金の増減額(△は減少)	△16,119	16,159
未払費用の増減額(△は減少)	△170,744	△359,481
未払消費税等の増減額(△は減少)	28,858	△158,249
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,608	△3,628
前受金の増減額(△は減少)	379,156	883,261
その他	△1,385	△11,670
小計	1,353,899	621,664
利息及び配当金の受取額	460	8,472
利息の支払額	-	△32
法人税等の支払額	△372,013	△366,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	982,347	263,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△210	△157,256
有形固定資産の売却による収入	-	15,293
無形固定資産の取得による支出	△1,206	△11,123
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△75,000
投資事業組合からの分配による収入	-	297
敷金及び保証金の回収による収入	-	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,416	△227,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,410	841
自己株式の取得による支出	△57	-
配当金の支払額	△298,043	△409,232
リース債務の返済による支出	-	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292,689	△408,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	588,241	△372,909
現金及び現金同等物の期首残高	5,021,943	5,971,871
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,610,185	5,598,962

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

(中間連結損益計算書関係)

前中間連結会計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「賃貸費用」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた1,203千円は「賃貸費用」117千円、「その他」1,085千円として組み替えております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前中間連結会計期間において、独立掲記をしておりました「差入保証金償却額」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「差入保証金償却額」4,319千円及び「その他」△5,704千円は「その他」△1,385千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランディング事業	データソリューション・プレイスソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,691,704	280,342	7,972,047	—	7,972,047
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	82,684	82,684	△82,684	—
計	7,691,704	363,027	8,054,731	△82,684	7,972,047
セグメント利益	990,449	38,940	1,029,390	△52,917	976,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△52,917千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランディング事業	データソリューション・プレイスソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,668,374	206,454	6,874,829	—	6,874,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	101,297	101,297	△101,297	—
計	6,668,374	307,752	6,976,127	△101,297	6,874,829
セグメント利益又は損失(△)	725,566	△14,358	711,207	△66,615	644,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,615千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。